

グローバル戦略課題としての中東 —2030年の見通しと対応—

平成26年3月



公益財団法人 日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

本報告書は、当研究所の平成 25 年度外務省外交・安全保障調査研究事業（総合事業）「グローバル戦略課題としての中東—2030 年の見通しと対応」の成果として取りまとめたものです。

本研究プロジェクトは、グローバルな課題である中東地域における安定の確立に向けて、日本外交の役割について政策提言を行うために、中東地域の政治的変動の諸要因を分析し、2030 年頃までの展望を予測（シナリオ・プランニング）することを活動の内容としています。

中東地域の安定は、地域を超えたグローバルな課題であり、日本外交にとって死活的に重要な問題と言えます。第一に、世界最大の原油産出地域である中東地域は、エネルギー供給を通じて世界経済の命運を握る存在です。シェールガスや再生可能エネルギーの開発など、中東以外でのエネルギー資源開発によって、中東産原油が世界のエネルギー供給に占める割合は漸減傾向にあるとはいえ、同地域の石油は引き続き世界の主要なエネルギー源であり続けるとみられます。特に日本は、原子力発電による電力供給が停止している中、原油供給の約 8 割を中東地域に依存しており、中東情勢は、今後も日本を含めた世界の経済と社会に大きな影響を与えることが想定されます。第二に、中東地域は、多くの紛争や安全保障上の問題を抱える地域であり、その帰趨はグローバルな影響を与えます。1970 年代以降の中東では、1979 年のイラン革命をはじめとして、イスラームの大義に基づいた国際秩序と政治・社会の変革を訴える思想・運動が大きな力を持つようになりました。今やグローバルな課題となっている「テロ防止」を効果的に進めていくためには、イスラーム主義という名称でくくられているさまざまな思想・運動の内実を分析し、中東地域の住民の多数が信仰するイスラームという要素を、どのようにテロの抑止と地域の安定・発展に結びつけていくかを考える必要があると言えます。

さらに、中東問題は、国際社会を主導している欧米諸国の内政と外交の双方について、相互に影響し合っているという意味においてもグローバルな性格を有しています。ヨーロッパは歴史的にも深いつながりを有し、20 世紀後半からはアメリカが、近年では経済成長著しい中国が中東地域に強く関与してきています。国際社会と中東地域の相互影響のこれまでの経緯と今後の展望を分析することは、グローバルな外交課題として中東地域の問題を捉えるうえでの重要な作業と言えるでしょう。本報告書に表明されている見解は全て各執筆者のものであり、当研究所の意見を代表するものではありませんが、本書が中東地域を考察する上での一助となれば幸いです。

最後に、本研究に終始積極的に取り組まれ、本報告書の作成にご尽力をいただいた執筆者各位、その過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

平成 26 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 野上 義二

研究体制

主査：	長澤 榮治	東京大学東洋文化研究所教授	
委員：	今井 宏平	日本学術振興会特別研究員 PD・明治大学（研究協力者）	
	江崎 智絵	防衛大学校准教授	
	小野沢 透	京都大学大学院文学研究科准教授	
	小林 良和	一般財団法人日本エネルギー経済研究所 化石エネルギー・電力ユニット 石油サブユニット石油グループマネージャー研究主幹	
	保坂 修司	一般財団法人日本エネルギー経済研究所研究理事	
	森山 央朗	同志社大学神学部准教授	
	横田 貴之	日本大学国際関係学部准教授	
	吉岡 明子	一般財団法人日本エネルギー経済研究所 中東研究センター主任研究員	
	委員兼幹事：	飯島 俊郎	日本国際問題研究所副所長
		貫井 万里	日本国際問題研究所研究員
担当助手：	中山 玲子	日本国際問題研究所研究助手	

（敬称略、五十音順）

目 次

序 章 地域としての中東とシナリオ・プランニング	長澤 榮治……………1
第1章 イラン内政の現状分析と課題 ーロウハーニー新政権の成立を軸にー	貫井 万里……………17
第2章 イラクの政治動向とその背景	吉岡 明子……………35
第3章 トルコの中東外交の短期的見通し ー外交パターンと現状分析の視点からー	今井 宏平……………45
第4章 シリアのプレ・モダンな社会構造とポスト・モダンな状況 ー名望家の持続と変質ー	森山 央朗……………61
第5章 アラブ政変後のイスラエル・パレスチナ関係	江崎 智絵……………73
第6章 エジプトにおけるイスラーム主義運動の周縁化	横田 貴之……………85
第7章 サウジアラビアの未来 ー2030年をみすえてー	保坂 修司……………93
第8章 転換期を迎える中東のエネルギー情勢	小林 良和……………113
第9章 アメリカと中東：歴史的な視点から	小野沢 透……………133